

日本歯科医師会

日本歯科医師会は、会員歯科診療所がスムーズにオンライン資格確認システムを導入できるよう、厚労省や社会保険診療報酬支払基金（以下、支払基金という）をはじめ、オンライン資格確認システムの導入に係る通信事業者等と積極的に連携し、会員周知を行っている。

▶ 日歯主催会議における周知活動と意見交換

- ・定例の役員会(月3回)をはじめ、各地区や都道府県歯科医師会の代表などが集まる大規模会議(代議員会(年3回)、都道府県会長会議(年2回)、専務理事会(年1回)など)において、その都度必要な周知を行っている

▶ 都道府県歯科医師会との連携

- ・都道府県歯科医師会協力のもと、顔認証付きカードリーダーの団体申込(紙)を実施
- ・日頃より都道府県歯科医師会を通じて会員に必要な情報提供(事務連絡文書の発出など)を行うとともに、都道府県会長会議などの大規模会議において、その都度周知を図っている
- ・都道府県歯科医師会経由で情報提供のあった、歯科診療所におけるシステム導入の際の課題や問題点について、厚労省や関係業種と連携して解消に向けた対応を図っている

▶ 厚労省、支払基金との連携

- ・適宜、厚労省、支払基金と意見交換を実施し、今起きている課題や問題点の把握に努めるとともに、その解消に向けた対応を図っている(例.補助金、システム導入の進捗状況など)
- ・厚労省、支払基金から発出されるオンライン資格確認に関する連絡文書について、診療所目線の分かり易い解説を加えた事務連絡文書を作成・発出している

▶ 関係業種との連携

- ・通信事業者と連携し、歯科診療所への効率的かつ的確なシステム導入に向けた対応を図っている
※NTT東日本は、効率的なシステム導入を支援するために「オンライン資格確認スタートパック」を開発
- ・レセコン業界団体との意見交換会、ヒアリング等を実施し、課題や問題点の把握に努めている